こだまだより

武蔵野市立桜野小学校
校長　谷川拓也
令和８年６・７月号

初夏の訪れを感じる季節となりました。子供たちは通級での学習にも慣れ、自分らしく意欲的に学習に取り組む姿が見られます。６月は暑さや湿度で疲れが出やすく、体調を崩しやすい時期です。今年は酷暑日の訪れも予想されています。一人一人のペースを大切にしながら、体調にも気を配り、安心して学べる環境づくりに努めていきます。

今後の予定

６月 23 日（火）～29 日（月）
こだま保護者面談期間
６月 24 日（水）難聴グループ
７月　１日（水）吃音グループ
７月 13 日（月）１学期指導終了
８月 27 日（木）こだま夏祭り
８月 28 日（金）２学期指導開始

通級判定会議について

今年度から、通級判定会議の回数が、年３回になりました。入級・退級を希望する方は、早めの相談をお勧めします。

日程　５月 20 日　実施済み
９月　９日　8/20 申請締め切り
12 月 16 日　11/26 申請締め切り

在籍校訪問に行ってきました

こだま学級での様子とは違った通級児童の様子を見ることができ、学級担任の先生方と情報交換をすることができました。参観時の様子については、面談や送迎の際にお話させていただきます。今年度も連携を図りながら指導をしていきますので、ご協力をお願い致します。

保護者面談期間のお知らせ

６月 23 日（火）～29 日（月）の期間に、連携型個別指導計画について保護者面談を行います。後日、日程調整をさせていただきます。

こだま学級　夏祭りのお知らせ

日時……８月 27 日（木）15 時～16 時 30 分(受付開始 14 時 45～)
場所……桜野小学校　体育館
内容……グループでコーナーめぐり（ヨーヨー釣り、サーキットコーナーなど）参加費・持ち物等は、後日改めてお知らせします。

今回は、難聴がある児童の支援についてご紹介します。

難聴について

難聴は、耳から脳へ音が伝わる経路のどこかに障害が起き、音が聞こえにくくなる症状です。聞き取りにくい状況や聞き誤りやすい音があるため、環境面の配慮が必要です。

●どのような状況で聞き取りにくくなるか

※児童によって聞こえ方、聞こえにくさは異なります。

〇離れたところから話しかけられたとき　〇口の動きが見えないとき　〇話し相手が複数いるとき
〇騒音が大きいとき　〇不安が強いとき　〇集中力が切れているとき　〇初めて聞く言葉

●どんな支援があるとよいのか

本人の聞こえ方、考え方、気持ちを大切にしながら、在籍学級、ご家庭、こだま学級で連携をとって、必要な支援を考えていきます。以下、一般的な支援例を紹介します。

〇口元を見せて話す。
〇キーワードを板書する、話合いでは意見を書き記すなど、文字情報を活用する。
〇座席を、前から２～３番目（聞こえやすく、視界にモデルになる児童がいる）にする。
〇集会や学校行事など、普段と違う状況での聞こえをフォローする。（筆記・声掛けなど）
〇理解授業を行い、周囲の児童に難聴について知ってもらうことで、聞こえに関する理解を促す。
（災害などの緊急時には、周りの児童が状況を教える必要がある場合もあります。）

難聴児の水泳指導について

難聴児童への支援例を紹介します。ごく一部のものを除き、補聴器や人工内耳には防水能力がないので、水泳の時には外さなければなりません。補聴器を装用しているときの聞き取りがどんなによくても、補聴器を外しているときには聞き取りは期待できません。難聴の児童のいるクラスで水泳指導をする際には、次のような内容を、事前に担任・保護者・児童本人で確認しています。

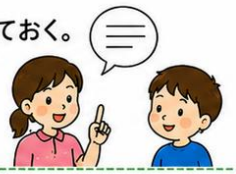
① 補聴器や人工内耳の着脱について

● 保管場所を決めておく。
（例：タッパーに入れて保健室に預ける。）

● 水泳後は耳や耳の中、髪の毛など、よく拭いて乾かしてから補聴器をつける。
（耳の中がぬれたまま補聴器を装用すると耳の穴が炎症を起こしてしまいます。）

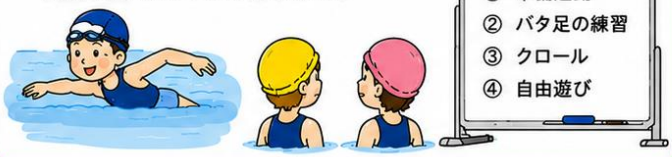
② 指示の聞き取りについて

● 前もって教室で話せることは、話しておく。



● あらかじめ決めておいた手のサインや身振り、旗などで合図を出す。

● モデルを示したり、ホワイトボードで視覚提示したりして指示する。



★聞こえにくさは外から分かりにくく、本人も不安になりやすい状態です。「見える工夫」「分かる工夫」「安心できるかかわり」を心がけ、関係者で協力して安心できる環境をつくっていきましょう。
不安なことや気になることがあれば、いつでもこだま学級にご相談ください。